

# 世界初の全訳

第三弾

第三卷  
一九三五〜一九三九年  
春秋社

東京外国語大学教授 中嶋嶺雄

一九八四年に逝去した郭華倫教授の『中共史論』は、その資料的な裏付けと内容的な正確さにおいて、類書のないものである。

若き日に中国共産党の中堅幹部として長征にも参加した同教授は、中国共産党の権力闘争・路線闘争の内幕とそのリアリズムを身をもって体験し、中国共産党の歴史は権力闘争・路線闘争の歴史にほかならないというゆるぎない史観を貫いている。本書に圧倒的な迫力があるゆえんであろう。

## 中国共産党史論

〈全四巻〉

- 第一巻 一九三〇〜三二年
  - 第二巻 一九三二〜三四年
  - 第三巻 一九三五〜三九年
  - 第四巻 一九三九〜四二年
- 90年10月刊

ISBN4-393-48513-0 C3322 P10100E

1990.2.25